

## 県政に対するご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

## 県政史上初の出来事【24年3月16日】

3月16日に閉会した2月県議会で、副知事二人を  
新任する人事案が30対37で否決されました。私は  
反対票を投じた一人です。人事議案が否決された  
のは静岡県政始まって以来のことだそうです。私  
が県議会議員になってまだ一年が経ちませんが、  
議員になって最初に開かれた5月の臨時議会では、  
臨時会では58年ぶりとなる補正予算が提出され  
たり、異例の出来事が続きました。

県民の皆様からは何が争点だったのか分かり  
にくいという声も聞かれます。現場にいた人間と  
して、振り返ってみたいと思います。話は昨年  
の12月に遡ります。当時二人いた副知事のお一  
人が突然総務省に帰任されました。その理由  
は明確に説明されませんでした。帰任発表の唐突  
さとその後の川勝知事の議会答弁（発言の後  
に知事の要請により議事録より削除された）を  
照らし合わせると“解雇”と呼ぶべきものだ  
と思います。このとき川勝知事は副知事一人に  
なっても大丈夫かという問いかけに、「何とか  
なる」という主旨の発言をしていました。その  
通り予算案も出来上がり、2月議会を迎えま  
したが、今度は突然の副知事3人体制の人事  
案提出です。知事発言の整合性が問われます。  
そして、その必要性に対する知事の説明も十  
分なものではありませんでした。

8人の部長がいる8部体制に知事と3人の副  
知事は組織として適正なのか、屋上屋を架す  
ものにはならないか、もちろん副知事一人当  
たり3,000万円のお金が掛かるということも  
あります。新聞に書かれている反対理由「行  
財政改革に反する」の真意です。

さて、私が所属する自民改革会議では議論  
の末、現副知事一人に加え新たに二人の副  
知事を任命し、副知事3人体制を目指すこ  
の人事案には反対との意見集約をしており  
ました。しかし議案採決前日の15日に突  
然、岩瀬副知事が辞表を提出しました。ま  
さに晴天の霹靂でありました。自らの辞任  
と引

き換えに人事案の可決を議会に求めたとの  
報道がありました。この時点で知事が目指し  
た副知事3人体制は頓挫しました。

16日の2月議会最終日の本会議前に、我  
々は再度この人事案に対する議論の場を持  
ちました。岩瀬副知事の突然の辞任、そし  
て二人の副知事の選任の人事案の取り扱  
いを知事はどう考えているか、何よりも  
議案に賛成するのか反対するのか、意見  
が飛び交いましたが結論に至りません。本  
会議開会冒頭、川勝知事が発言を求めて  
いるということであり、これを聞いた後、  
再度議論の場を持つということになり  
ました。

しかし知事の発言は、岩瀬副知事の辞表  
を受理したという言葉に多少の修飾語が  
ついていた程度のものでした。知事の  
発言を受け、開会後わずか数分で休憩  
に入りましたが、知事の発言を注視して  
いた私達にとっては期待外れのもので  
した。余りに議会軽視であり、人事案  
は否決すべきだというやや感情的な  
発言も決して少なくありませんでした。  
しかし、私も申し上げましたが、質  
疑の時間を取って知事の真意を再度伺  
おうということになりました。

会派を代表した質疑者に設定された質問は

- ①知事の説明責任
- ②副知事からの辞表の受理
- ③副知事3人体制
- ④第91号議案(副知事の選任について)の取り扱いについてでした。他の会派からも同様の質疑が出されました。しかしここでも知事からは良く分からない、ちぐはぐな答弁が繰り返されるのみで、余計に判断に苦しむこととなってしまいました。

岩瀬副知事が辞表を提出したことにより、我々が反対の理由としてきた副知事3人体制は実現しませんので、反対する理由は無くなった様にも思われます。しかしこの辺りに関する確認の質疑に対して、知事の説明は捉えどころがありません